

農山村の地域資源を次世代に

『都市と農山村をつなぐボランティア活動』

とちぎ **夢** 大地応援団

平成29年度新規推進地区「塩谷町上沢地区」の活動の様子



応援団員や地元の方々、関係者など総勢80名が参加しました

平成29年度自主継続地区「佐野市下秋山地区」の活動の様子



応援団員や地元の方々総勢24名が参加しました

とちぎ夢大地応援団「塩谷町上沢地区」と「佐野市下秋山地区」の活動が11月26日行われ、塩谷町上沢地区では獣害防護柵の設置が、佐野市下秋山地区では山すその草刈り等が行われました。

(2頁に詳細)

はばたけ夢大地

第24号

2018/3

とちぎ夢大地応援団事務局
(公財)栃木県農業振興公社
栃木県農政部農村振興課

11月26日
実施

塩谷町 上沢地区 「獣害防護柵設置作業」

塩谷町上沢地区のとちぎ夢大地応援団活動が11月26日、地区内の山林で応援団員31名、応援団カレッジ活動参加の宇都宮大学の学生9名、地元上沢区獣害防護柵設置委員会（廻谷寿久会長）の会員27名など、総勢80名が参加して行われ、イノシシやシカ等獣害を防ぐための柵を1.5kmにわたって設置しました。当日の夢大地応援団員31名の内訳は、一般団員6名、ボランティア団体栃木ナルク会員11名、地域社会貢献活動として参加した大和ハウス工業宇都宮支社9名、県農政部職員5名です。10数名ずつの5班に分かれて山林内に入り、地元の班長から作業の手順を教わり、メッシュ柵を運ぶ人、柵を鉄の支柱に結束する人などの担当に分かれて、次々とフェンスをつないでいきました。

☆**参加者の声** 学生の参加が今後も必要である。特に女性の活動が全体の励みになる。

☆**地元の声** 地区外の人を力を使わないとできない作業が多いため、夢大地応援団は非常に助かる。これを機会に上沢地区に今後も足を運んでほしい。



獣害防護柵を設置する応援団員

11月26日
実施

佐野市 下秋山地区 「山すその草刈り等」

佐野市下秋山町会主催のとちぎ夢大地応援団活動が11月26日、応援団員8名と地元町会員16名の総勢24名が参加して、地区内の山すそや秋山川沿いに設置された獣害防護柵周辺の草刈りを行いました。また、昼食後の交流会では、参加者一人ひとりの自己紹介などが行われ、応援団員と地元の方たちの間で温かい交流が図られました。

☆**参加者の声** 大変な作業だったが非常にやりがいがあった。地元の方と交流ができたのもよかった。

☆**地元の声** 住民が高齢化し地元だけでの柵の管理には限界がある。応援団に来てもらい非常に感謝している。



刈払い機で作業する応援団員

平成29年度とちぎ夢大地応援団カレッジ活動の様子

とちぎ夢大地応援団カレッジ活動は、平成23年度から実施しているもので、次世代を担う若い人たちが農地保全などの活動を通じて豊かな農村環境の維持・保全の大切さを学び、さらに伝統文化に触れ農業農村への理解を深めてもらうための活動です。

今年度は、宇都宮大学の学生を対象に実施しましたので、以下に各回の様子を紹介します。

☆ 第1回活動報告 H29・11・26(日)「塩谷町上沢地区」

宇都宮大学農学部1～3年生9名が参加し、とちぎ夢大地応援団員や地元の人たちと一緒に獣害防護柵の設置作業を行いました。学生たちは、地元の人から作業の手順を教わり、メッシュ柵を運ぶ人、支柱を立てる人、柵を支柱に結束する人など担当に分かれて作業を行いました。すぐに技術をマスターして高さ2m、幅1.3mのフェンスを次々と繋いでいきました。

☆**地元の声** 学生が楽しそうに作業している姿を見ると「元気をもらえる」。



地元の人に結束のやり方を教わりながら



勾配がきつく足場の悪い所も、若さで克服

☆ 第2回活動報告 H29・12・10(日)「大田原市両郷地区」

宇都宮大学農学部1～4年生12名が、大田原市中野内のガーデンハウス「3びきの子ぶた」農村体験ばあちゃんの会（益子鐵雄代表、会員6名）の人たちと一緒に、イチゴハウスの中でイチゴ苗ランナーのピン抜き作業を行いました。中腰の体勢で指先を使った細かい作業でしたが、学生たちは地元の人たちとイチゴの話などをしながら作業をすすめました。

昼食時には、手づくりのピザ窯でピザを焼いて食べたり、野菜の花当てクイズなどを行って、地元の人たちと交流を深めていました。

☆**地元の声** 若い人と作業ができ楽しかったし、自分たちだけでは何日もかかる作業を終わらせてもらって大助かりです。



中腰でピンを抜く作業は大変でした

☆ 第3回活動報告 H30・1・21(日)「佐野市下秋山地区」

宇都宮大学農学部1～3年生7名が、あきやま有機農村未来塾（藤川昭夫代表）の会員20名とともに、2棟（3a）のヤマブドウ栽培用パイプハウスの組立てに汗を流しました。学生たちは、地元の人から作業の手ほどきを受けた後、男子学生はパイプを刺す地面の穴開けの力仕事を主に担当、女子学生はハシゴの上でパイプをつなぐ作業を手際よく行っていました。作業を終えた学生は、「重労働だったが、手伝ってもらって仕事がはかどったといわれ、うれしかった」と感想を述べていました。

☆**地元の声** 学生が来てくれたおかげで作業がはかどった。参加者が若い分、パワーを感じた。



固い地面の穴掘りは大変な力仕事でした



とちぎ夢大地応援団カレッジ活動参加者（宇大生）の感想から



☆農家さんの苦勞を知り、より食べ物を大切に、残さず食べようと思った。柵はひとつひとつ手作業で設置していき、最初は道具を上手に使いえなかったが、慣れると作業を進めるスピードが速くなり、楽しくなった。1.5kmと聞くと果てしなく感じたが、地域の皆さんと協力して進め、終わってみるとあっという間だった。初めてお会いする方がほとんどだったが、気さくにお話してくださり、たくさん笑ってたくさん体を動かした充実した一日だった。機会があればまた参加したい。(11月26日、塩谷町上沢地区)

☆柵の設置は人手が少ないと大変な作業だと実感した。(同)

☆他人のために労働する機会を得て、すがすがしかった。(同)

☆活動内容が楽しそうというだけで参加してしまいましたが、イチゴ作りの1つの作業に携わることができ、いい経験になりました。こういった大変な作業の積み重ねによって、おいしいイチゴたちができていることを改めて実感しました。(12月10日、大田原市両郷地区)

☆今回の活動を通して、作業の手伝いだけでなく、地元地域の方々と交流できたので、大変充実した時間を過ごさせていただきました。ありがとうございました。(同)

☆「若い子がくると仕事はがはどる」など、たくさん声をかけてもらったのがとてもうれしかったです。ぜひ機会があれば積極的に参加したいと思いました。(1月21日、佐野市下秋山地区)

☆大学の講義やサークル活動ではできないような貴重な体験ができ、とても充実した時間が過ごせた。(同)

とちぎ夢大地応援団員の紹介



宇都宮市野沢町 白石喜美子さん(66) 正敏さん(70) 夫妻

☆入会のきっかけ 4、5年前のことだったでしょうか、何気なく栃木県のHPを検索中、県農業振興公社のサイトが目にとまりました。そこで『夢大地応援団』の活動を知りました。ボランティアの目的は、里山の保全を地域の方々と一緒に行うという内容でした。日々の生活の中では出会えない方々との交流も兼ねて奉仕活動もできるのではないかと、すぐに団員の登録を行いました。

☆活動に参加して 今まで、栃木市大柿地区のヒガンバナの球根の植付け作業を皮切りに、茂木町の遊歩道の整備、鹿沼市中粕尾のホタル生息地の小川の清掃、佐野市多田地区の遊休農地の草刈り、塩谷町においては、近年深刻化している獣害防護柵の設置など、多種多様でした。都合のつく限り参加させていただきましたが、次回も参加したいという思いにつながるのは、何といたっても地域の方々が快く私たちボランティアを受け入れてくださったこと。そして地元の女性陣の方々が朝早くから心尽くしの手料理を準備してくださったことも、楽しみのひとつです。本当にありがたいことです。また、中山間地域で生活されておられる方々の心意気を身近に触れることもできました。

寒さの中の作業や、額に汗をかく力仕事もありますが、清々しい風、草のにおい、美味しい空気、ゆっくりとした時の流れる里山での活動を、ぜひ多くの方にも体験していただきたいと思います。

(喜美子さん記)

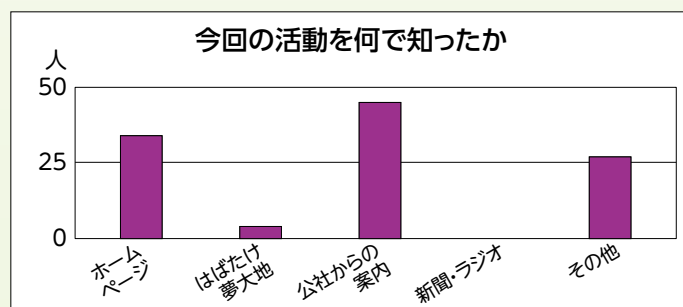
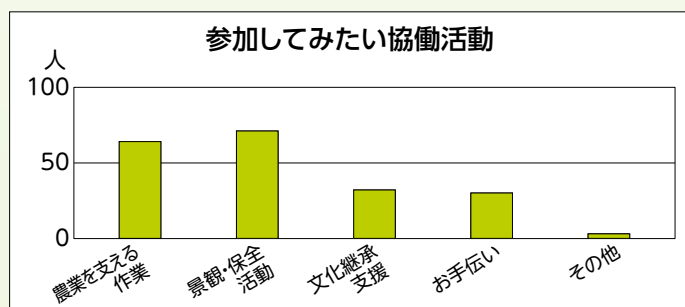
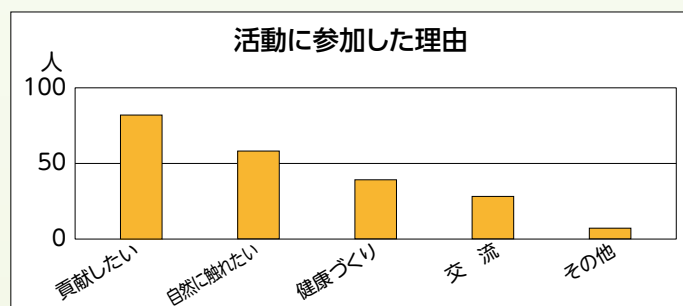
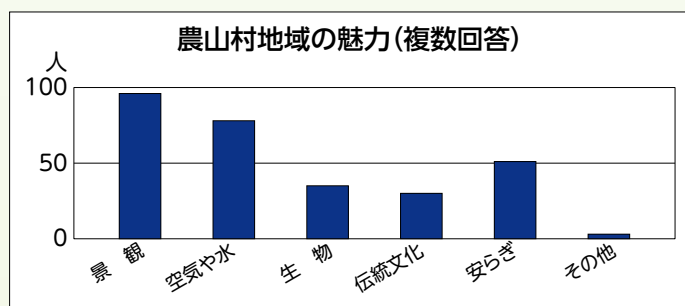
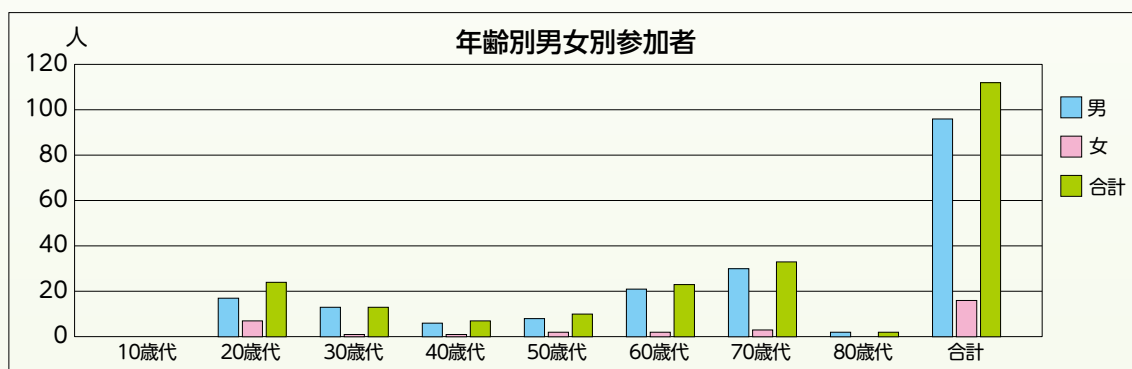
— アンケート調査 ご協力ありがとうございました —

平成29年度の夢大地応援団活動時に112名のボランティアの方々からアンケート調査に御協力をいただきました。

アンケート集計の結果は下記のグラフのとおりです。

参加者は、男性が86%を占め、年代別では70歳代が33人、次いで20歳代が24人、60歳代23人の順になっています。「農山村地域の魅力は」の問いには「美しい景観をみることができる」、「きれいな空気や水を感じることができる」、「心のやすらぎを感じる」の順でした。「ボランティア活動に参加した理由」では、「農村の環境保全に貢献したい」が最も多く、次に「自然に触れたい」、「健康づくり」、「同志と交流ができる」の順でした。「参加してみたい協働活動」は、「景観向上や生態系保全活動」が71人でトップ、次いで「水路清掃や耕作放棄地の刈払い作業」が64人と続いています。

今後も引き続き活動への参加をよろしくお願いします。



- ◎活動の詳細は農業振興公社ホームページ（とちぎ夢大地応援団の案内）でご覧ください。
- ◎とちぎ夢大地応援団活動は、県と農業振興公社が募集・活動の支援を行っています。

とちぎ夢大地応援団事務局

(公財) 栃木県農業振興公社

栃木県農政部農村振興課
中山間地域担当

<http://www.tochigi-agri.or.jp/yumedaichiouendan/index>

〒320-0047 宇都宮市一の沢2-2-13
TEL 028-648-9515 FAX 028-648-9517
〒320-8501 宇都宮市埴田1-1-20
TEL 028-623-2334 FAX 028-623-2337

とちぎ夢大地応援団

